

1) 左下のヒント(切り貼りの文字)は折り隠して与える。
2) 声を出してしっかりと読ませる。くつき抜きで読んだ場合の足らない感じ、分かりにくさを感じ取らせて、くつきを考える。
3) 困難ならヒントを開けてやる。

a) 助詞の・が・にの、格に合わせた適切な想起。
b) 個人差が大きい。格助詞使用の意識的な体験の積み重ねが必要。
c) 膠着語である日本語においては、助詞が文脈と論旨を左右する。

Date /
Note
評

□にかきいれてね。



このくつは、

ぼく くつです。

ぼく はきます。

ぼく ぴったりです。

(書くのが困難な場合のみ切り貼り。)

にのをか